

大津島データ 166 世帯
人口 227 人 男 93 人 女 134 人
高齢化率 80.0%
(令和2年1月31日現在)



潮流

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



建国記念日奉祝行事・ 大津島地区文化祭

▼報告 周南市役所 大津島支所
原田和保

2月11日(祝)に大津島体験交流施設「海の郷」の体育館で、建国記念日奉祝行事と大津島地区文化祭を開催しました。当日は、快晴で参加者とスタッフを合わせ総勢約100名の出席がありました。

日本国の建国を奉祝した後、文化祭午前の部では、先日の敬老会で高評だった大津島を紹介するドローンの映像や、馬島地区を中心に昔懐かしい思い出写真を紹介していただき、思わず時間を忘れる程でした。昼食は、すだいたいビール等で乾杯し、島食堂ひなた弁当を味わいながら、午後の部へと移りました。



若潮の会 ショータイム

午後の部、大津島の伝統芸能である回天踊りは、迫力があり目を見張る物がありました。水戸黄門漫遊記は、ぶっつけ本番で配役が出て来ないハプニング等ありましたがなんとか無事に終わり、ラストは、若潮の会シヨータムとご来場の皆さんとの健康体操で盛り上がりました。当日は、スタッフ等関係者の皆さま、大変お疲れさまでした。



水戸黄門 御一行

陶器大募集!

5月4日(祝)、大津島で「島マルチエ」が開催されます。「羊の羽は丘にあり」参照

それに伴い、同日、若潮の会のご協力で陶器市が開催される事になりました。

家に使われずに眠っている素敵な陶器はありませんか?もし「うちにあるよ」という方は、是非出品してみませんか?当日ご来場のマルチエのお客様や島の方々が買ってくれるかもしれません。陶器というのは見るだけでも楽しくなるものですよね。出品をご希望される方はご連絡をいただけたら幸いです。



090-4658-7862

お詫びと修正

馬島港前建立の観音様横の「回天の母」歌詞の母親名に誤りがあつた事情に係り、この度回天顕彰会の責任にて修正作業を致しました。

(誤) お虎母ちゃん
(正) お重母ちゃん

修正後



修正前



文川内山剛

・記事 渡邊あゆ子
・連絡先

ひろしのつばき

文川屋野廣志



又かあ、辞退すれば良いものを又も、つばやく羽目となった。認知症の進む思考も定かでない現況もリハビリだと思へば皆様に迷惑極まりない。有名人の名前や大事な事柄も思い出す事ならず、文字に至れば読む事も定かではないが何故に此の文字が此の様な型で此の様な発言なのか、猜疑心の進む呆けには疑って疑って前へ進むことが出来ぬ。新聞や辞書に頼り確かめ納得するまで此れが呆けの始まりか?

呆けの始まりの原因は人との対話が無い事。友も又その様に云ふ。

会話の無い第一の原因は難聴がある。何度も聞き返す事が悪く、解らなくてもニコニコと笑ってうなづく、此れが悪い。大事な用件であったかも知れず、ニコニコで済まし、大事に至る事もあり、それに役立のが補聴器なる物。67才の時大津島巡航来船が決まり、時後再三補聴器なる物を利用するが難聴でも自然聴が良く、会議場か通院の時位に使用する。令和2年お年玉として通販で自宅充電可能と云ふ事で発注するがこの度、建国記念文化祭にも着用参加するが良好なり。だが水戸黄門漫遊記大津島編は好評なるが名優の健闘は賛称するが難聴度の高い老人には?名優達のアドリブなど拝聴すれば最高なるがとつばやく。

若潮の会通信

No.33

「遠く離れて」
若潮の会に参加して」



文=古城忠彦

馬島で昭和33年7月21日に生まれた61歳古城忠彦です。

高校を卒業後、東京で暮らしております。若潮の会との出会いは「発足式」か「第1回総会」の時に、仙台(東日本大震災直後に赴任)から帰省していた時が始まりでした。馬島に住む従妹から「島出身者が集まり、島の活動支援を話し合う会があるんじゃないかと来てみんかね」と誘いがありました。母の看病もあり、落ち込んでいた時なので気晴らしに誘ってくれたのだと思います。帰省の度に寂れていく故郷を切なく感じていましたが、島を住みやすい場所とは考えられませんでした。ところが、草取りや伐採、様々な行事の役務など自身は全然協力できないのですが、会の報告やメンバーにお話を伺い続けておられますと、徐々に沸々と、言い過ぎかも知れませんが使命感のようなものが湧き上がってくるのです。理由はわかりませんが、実家の周りはほとんど空き家であり、帰るたび水道水を使うのが心配になってくる状態です。はたまた石垣は大きな木が成長し崩れるかもと心配になってきます。でも、若潮の会に接すると日常の不安や不満が、いつかは解消されるのではないかと考えてくるから不思議な組織です。

退職後は、故郷の保守や都会との橋渡しなど、やれることがたくさんあるのではないかと気づかせてくれます。

ぜひ良かったら 利用して下さい



デイサービスセンター
文＝竹内雅子

3月とはいえ、まだ寒く、船着き場で船を待ちながら風に当たり、大津島の冬を堪能しています。

大津島にデイサービスセンターが出来て今年で25年目を迎えることとなりました。多い時には、食堂のテーブルで食事が摂れないほどの大人数で、賑やかな食事をしていただくこともありましたが、島の人口減少と共に、デイサービスの利用者も減り、ゆつたりとしたホールで過ごしていただけるようになってきました。

以前から、大津島はシャイな方が多いと思っていました。が、「まだまだデイサービスの世話になるほどでは」という声や、「行って迷惑をかけたらいけんから」との声を良く聞きます。ですが、地元にある貴重な社会資源ですので、理用しないのはもったいないのでは?と試してみました。大きな風呂に入り、家族以外の人とお話をしながらご飯を食べて楽しい時間を過ごすというのも、週に1度くらいはいかがでしょう。

お気軽に立ち寄っていただければ、職員一同心待ちにしております。

羊の羽は 丘にあり

vol 15

【島マルチェー】

五月四日のみどりの日に島マルチェ2020を開催する事となりました。島マルチェは南瀬戸内海を囲む街と島々が集い、島国ならではの自然や季節の食文化、風土体験を目的としています。

島内外からの出店やたくさんの方の来場者によって大きな賑わいになることが予想されます。ぜひ遊びに来てみてください。このイベントが島の新たな風景となるように願っています。（詳細は次号へ!）

松田翔剛



お知らせ

【次回潮流発行予定日】
5月1日 第273号

善意銀行へのご寄付ありがとうございます

▼預託者 ご遺族 藤原ヒロミ 様
夫 藤原守男 様の香典返しとして
金5万円（市社協1万円、大津島社協4万円）

【3月～5月の主な島の行事予定】

4月5日（日） 大津島さくらまつり
会場：大津島ふれあいセンター
5月4日（月・祝） 島マルチェ（イベント）
前日の3日（日）夜に前夜祭として企画を実施予定
会場：大津島ふれあいセンター周辺

【編集後記】

昨年4月に大津島支所に赴任して、あっという間に経過したように思います。私の中では、激動の1年でした。それと同時にしっかりしなければという私がいま。

文責：原田 和保

令和2年度 周南市航路利用券を交付します

- ①対象者： 75歳以上の大津島地区住民
- ②交付枚数：24枚（4月1日から使用可）
- ③申請場所
大津島支所
市役所本庁舎 都市政策課（岐山通1-1、庁舎3階）
- ④申請方法
保険証・運転免許証等、本人確認のできる書類をお持ちください
- ⑤受付期間： 3月23日（月） から
- ⑥その他
 - ・令和2年度中に75歳を迎えられる方は、誕生日以降の申請となります
 - ・5月以降の申請の場合、来年3月までの月数×2枚分になります
 - ・代理人による申請も可能です
- ⑦問い合わせ
都市政策課（22-8426）

移動図書館 やまびこ号ジュニア

3月18日（水）、4月22日（水）
馬島11：30～ 刈尾12：20～

知っちゃうかね ホットケーキ

文＝松本千恵子



今年も冬になり、気付けば今年も公園の松がずいぶん枯れよる。どうも公園の松はある程度大けえなると枯れてしまふようなね。幼木の頃は景気も良うて、ヨシヨシと見ちよるんじやが、いつの間にかやう次々に枯れていく。たしか今植わつちよる松は、松くい虫に強い種類じゃと聞いたんじやがね。それでも次々に枯れる。この前の大風の後は、公園中がすぐどの絨毯のようになつちよった。それを見ながら子供の頃、こねえにきれいなすくどがあつたら嬉しかったろうにと、すぐどこりが子供の仕事じゃった頃を思つた。妹と弟を連れてすぐどこりに行くのに、ホットケーキを作つてやろうと思つて小麦粉に卵砂糖を混ぜて、たつぷりの油で焼いた。ベーキングパウダーなるものの存在も知らず、母は炭酸を代わりに使つてふつくらしたホットケーキを作つていた時代。炭酸も入れず作るもんじやから油ベチョベチョの甘くて卵臭い、ねつちよりしたの何やら分からんもの。その日の弁当じゃった。それでも妹も弟も「うまあよ」と言つて食べてくれた。じゃから今度こそはと砂糖を増やしたり、また卵を増やしてみたりせたが、ますますベチョベチョになつたり、卵臭かつたりして、ようやく母に事の次第を話して助けを乞つと「そりゃ

ああんた、炭酸ないと入れえで膨らむかいね」と笑われた。そこで次に作る時には恐る恐る少量の炭酸を加えてみたなるほど、ちーとほど膨れてベチョベチョじゃあなあようになつたが、母のそれには程遠い。そこで炭酸が足らんかつたなど、見合わせ丸の持ち合わせの無い私は思い切つて炭酸を加えて焼いた。ふつくらとそれは美味しうと出来上がり、思い切りかぶりつくとき、炭酸を入れ過ぎた訳で、妹にも弟にも大不評。火加減も竈（かまど）だから、時には焼け焦げ、時には生焼け。甘い物の少ない時代、そんなものでも妹も弟も文句も言わず食べてくれたね。

その後、ホットケーキミックスじゃあ言つて便利な物が出来てきて、正体不明の物を食べずに済むようになった。おかげで我が家の子供達は、お袋の味ならぬ、袋の味で育ちましたとき。

この頃ではパンケーキとやら言つて、クリームや果物を飾つたバエる食べ物になつちよるようなね。じゃが私にとってホットケーキはまずあのベチョベチョが頭に浮かぶ。まさか妹も弟もそうでありませんように。

徳山湾 見聞録

20 みんな同じじゃつまんない。 でも同じ方がよい時も

文＝回天記念館 三崎英和

同じ目的をもつ建物を同じ材料や構造で造れば、工費は安く工期も短くて済む。このような標準設計手法は古くからあり、島内に残る魚雷発射施設や砲台陣地などがその代表的なもので、他地域にも同様な形状をしたものが残っています。

この手法は学校建設にも使われ、同じような校舎があちこちに建てられました。が、個性を生かす教育の推進などもあつてか、最近ではいろいろなデザインや素材が採用されています。大津島小学校の校舎の外壁も、角の部分が曲線であることから、この壁が校舎全体を包み込むような特徴あるフォルムになっています。

そんな中、昔の設計指針に基づいて作られた施設が今でも活躍しているものも

あります。それは支所や旧馬島公民館。市街地にある施設もほぼ同じ仕様なので、一目でそういう建物だと分かります。ところで逆に、同じ構造やデザインをあえてずつつつ使っている施設もあります。例えば3年前に遠石地区にできたショッピングセンター。既に新南陽地区にもありますが、まったく同じ外観で、売り場から駐車場のレイアウトもほぼ同じです。

これは標準設計を活用した方が安価で建設でき、しかもお客さんにとっても分かりやすいといったメリットが合致した結果なのでしょう。



イラスト 三崎英和さん